

コペンハーゲンの中心のメインストリート、ストロイエは、北欧最大の歩行者天国。王室御用達の老舗ブランドから、最新のファッションまで、現代デンマークの文化を発信しているところだ。

中世の建物の中に一步入れば、外観からは想像できないほど、北欧モダンにリノベーションされていていたりする。ストロイエだけではない。街中のあちこちで、「かっこいい」と「かわいい」が、ほどよいバランスで整い、その洗練されたセンスにはいつも驚かされる。

過去と現在が融合し未来へとつないでいる魅力的な街、コペンハーゲンの中心をほんの少しご紹介しよう。
繁華街につきものデパートは、「マガジン(Magasin)」と「イルム(Illum)」のふたつ。

まずイルムは、ストロイエの中心にあつて、その並びにロイヤルコペンハーゲンとジョージジェンセンという、デンマークを代表する二大ブランドの本店がある。どちらも建物はクラシカルな石造りで、百年以上前からここに君臨している。

私が好きなのは、このロイヤルコペンハーゲンの中庭にあるロイヤルカフェだ。クラシックとモダンとエレガント、ユニークさがミックスされ、尚かつスタイリッシュ。しかもほとんどピンク色の世界！ ガラス瓶に入ったキャンディのひとつひとつまでがいちいちかわいいのだ。

壁には中世貴族の肖像画が掛けられているかと思えば、別の壁には「相撲レスラー」が取り組んでいるキツチユな絵とダラヘスト(幸せを呼ぶスウェーデンの木彫りの馬)が描かれている。このバランスと色彩感覚！ 創った人はただものではないと思う。そこへきてサーブされる食器は全てロイヤルコペンハーゲン。あの凛としたブルーフルテッドが全てを引き締めてくれるから不思議。

カフェとしてはお値段もちょっと高めなので、客層も大人が多く、なんとなくセレブ感が漂っている(意外とおじさまも商談していたりする)。だが何と言っても、中世からの建物に一步踏み込んでからのギャップが魅力だろう。買い物をちょっと節約して、優雅にお茶を楽しむ。ここは、女子のハートをわしづかみにするワンダラーノドなのです。



イルムは、北欧最大の歩行者天国「Illums Bolighus」のインテリア食器。1品見せる。

売場は赤一色!! ギフトのチョコレートツリーのオーナメントみたい。



いらっやいませ〜

デパートにはよくこんな場面に出くわします...



おと物国の魔法にかかりそう...

おと物国の兵隊さんには、サンタ夫婦に似せやめいぐら... 閉店後はまっ歩き出してかわいんだりおしゃべりしてよ!



ご主人はガチョウを好き。奥さんはカゴいはいのリンゴ。

デンマークは、サンタクロースの国。(北極のサンタクロースの国)

日本へはトナカイのソリで単身出張しているサンタクロース。地元だからか、ここデンマークでは、奥さまの姿をよくお見かけします。1中のよい夫婦...

マガジンはデンマーク最大のデパート。デパートで食材を見るのも楽しいですよ。

コペンハーゲンの
おすすめスポット②



夕方は、かなり長い行列が
できています。



KONGELIG HOFLEVERANDØR
A.C. PERCH'S
THE HANDEL
1835

日本でも、もうおなじみ A.C. PERCH'S.
「エーミーパークスどこですか?」と言っても
全く通じないのです。
「エーミーパーチ」と言ってみて下さい。
(ア)

おひとり様 要1オーダー
ポットサービス 85DKK でお済



暑い時は、
おなかいっぱい
シニアできない
もってたい!!



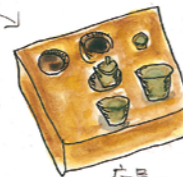
拡大

店内に整列した
数々種類ある茶葉を
このスコップで何種類か
取って、このジヤグで
ブレンドする

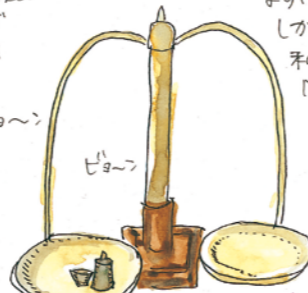


ピョ〜

分銅で
茶葉を
量ります
歴史を感じる
分銅の色。



お茶の良さは
さらに感動!!
店員さんの手元にくぎづけ!



昔ながらの天棚ばかり

お茶の良さは
さらに感動!!

店員さんの手元にくぎづけ!

2階のティールームへ上がり、紅茶を
飲んでみました。でもメニューが...
ブレンドティーが150種類以上ありまして。
どうオーダーすればいいのかわからない。
名前を選んでみました。

Hyggethe ヒュグゲティー
デンマーク人の大好きな言葉「hygge」
「くつろぎのお茶」と名付けられたこのお茶!!
こんなにキュアでクリアなお茶初めて
雑味を全く感じない清らかな
本当に驚きました。おいしーっ。

買って帰ろう。

IFのSHOPで好みを選び、その場で
ブレンドしてくれます。でも沢山の茶葉。
まずは番号札を取って待つ。
しかし、デンマーク語で呼ばれます。
それは、次に番号札を取った人に
「私の順番がきたら
お知らせねー。デンマーク語。
わからんとです」とおっしゃ
いました。
さき程飲んだ Hyggethe と
ベリー系のアロマティーが
ほわいとオーダーしました。

Huld Tempel という

お茶が出来上がった!!
これがまた素晴らしい香り。
このクオリティーの高さ。さすがの
王室御用達。うんうん。

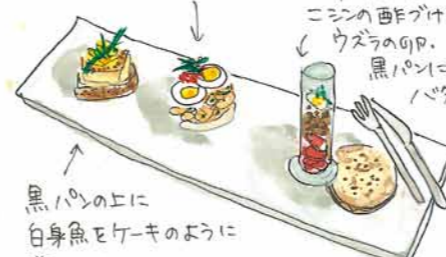
* あまりの美味で、あまりのクオリティーの高さに感動し、私、茶葉1kgも大量購入してしまいました。*

コペンハーゲンの
おすすめスポット③



ここからエレガントなピンクの世界へ
THE ROYAL CAFE

エビのサラダにゆで卵と
トビックス、デイルの飾り



黒パンの上に
白身魚をケーキのように
蒸したものを。
レモナードソースとデイル

シリンダーの中は
入っているのは
ニシンの酢漬けと
ウズラの卵。
黒パンには
バターをのせて

1sumushi
= 45DKK
3sumushi
= 125DKK
(約2000円)
お値段も上等!!

SUMUSHI

日本のお鮎をイメージして作られた
デンマークの伝統料理 Smørrebrød
スマアブロー。通常より小ぶりなサイズ。

無造作ながら 藝妓のよう
ディスプレイ。



いつもお客様が
いっぱいのお店
まるで貴族の
宮のよう...
誰が居てもいい感じ
この空間の魔力。
魅力的!!

あら〜。サンタさんお仕事前に洗濯ですか。
The Royal Cafeの裏庭に干してありました。



サンタの絵が
描いてある
プレゼント袋

トードマークの
赤い帽子。
白いヒゲイサナのが
驚き!!

赤い大きな
サンタのコート

Rundetårn

ラウンドタワー

ラウンドタワーは屋上の展望台まで7回転半、
緩やかにらせん状の回廊に作られている。

壁や天井はアーチ状で、どの角度に立っても
風景というものがなく、光と影が折り返す
空間は、たまたま会話の中に立っている錯覚を
起す。カメラで二次元に写るとして、
肉眼で三次元を交互に楽しむのが
好きで度々来ってしまう。ぐるぐる回廊を
利用してカクツウレースというユニークな
レースが開催されることも。

ペンデルセンの「火打箱」と
いうお話にも登場
しています。

コペンハーゲンのおすすめスポット④



Since 1642

クリスチャン4世によって
天文観測所として建てられた
階段じゃないのはなぜ？
答えは下に。

Kysseboenkenからの
眺めは臨場感ある
トリニティ教会の
大聖堂のステンド
グラスが
ま——っすぐに
金鐘楼まで透り抜けて
とて素敵な眺めです。

昔は王様とておきの
眺めだったんだしよわ。

答え。望遠鏡など観測には必要な
ものを馬車で運んだから。
王様も馬車で登るよわ。



展望台へ昇るらせん階段の
手前には special な
コーナーがあります

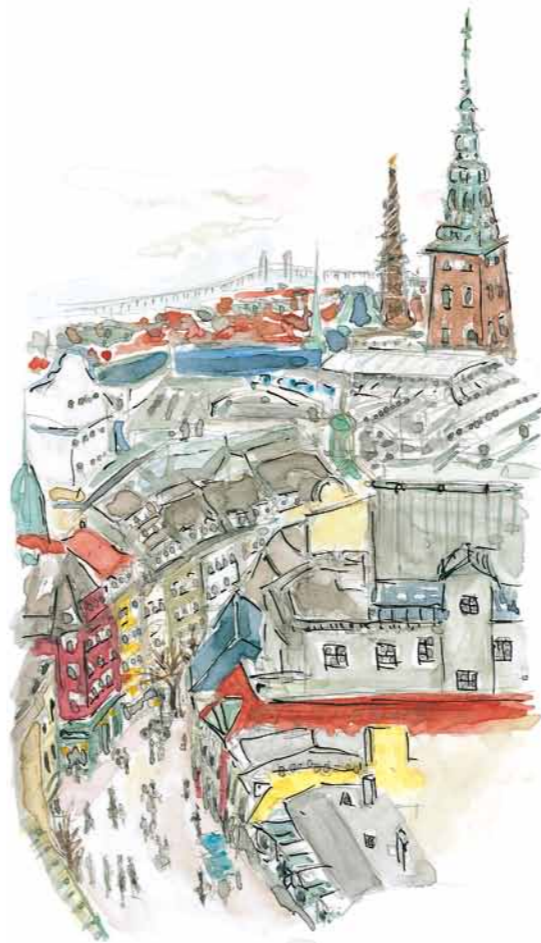
Kysseboenken

白い壁に鮮やかな赤で書かれた
文字 Kysseboenken.

「キスする所」だとして、近くは
いたカクツウレース。720°から
720°まで。

「キス」は音をとってない？
「だせい」。

回廊を昇りきると、
最後の窓は、
下向きもなく、
眺めがダイレクトに
見える。
シンプルながら、天井の
ドライクラウアーや
赤いベンチ。
恋人たちへの
演出？



The Round Tower Shop & Café

中世から愛らぬ街並み。
ラウンドタワーから
車窓の展望。
薄曇りだったけど、
遠くオースンブリッジも
見える。
手前の尖塔は
コペンハーゲンで
3番目に高い
「聖ニコライ教会」
奥のらせん状の尖塔は
「救世主教会」あのらせん
で回廊に登ることが
できるらしいけど、こっちはどなたか
見えないだろう。



トリニティ教会の上階部分。
昔々、大学図書館だった部分は
現在、Artの展示室となっていて、
その一角はおしゃれなCaféとShop。
今回の展示は花の写真と白のセグメント。
セグメントは7脚の椅子x2。
教会のように中央通路あけて
98客整然と並べました。



平日の昼間だったのでも
何組もの小学生、中学生が
見学に来ていました。
冬季は毎週火曜・水曜の夜、
天文台として開かれています。
(※シーズン注意)
1642年から愛らぬ展望を
見上げてみてはいいかでして？

LAGKAGE HUSET

* パンカタログ *



VALNØDDE BRØD

ヴァルヌドデ ブロッド

くずみ入りの黒パン
くずみの甘味がライ麦の酸味と
おさえにくくて食べやすい黒パン



CIABATTA

縦に大きくきれいにクープが開いて
見た目からおいしい。植物性脂肪
だから、ヘルシー。露地の人も
ベジタリアンの人も安心して食べられる

VERONA BRØD

ベローナ ブロッド

ひまわりの種がいっぱい
入った白パン。
人気の定番です



VESTERHAUS BRØD

ヴェスターハウス ブロッド

色々なシード類や
雑穀類が入った
黒パン。
香ばしくて、あつちり
していて満足感の
あるおいしい



BONDE BRØD

農夫のパンという
名前が強いパン。
黒パンと白パンの
中間くらいだから
オープンサンドにも
とても合う。

ハード系と一ロに言っても、それぞれに特徴がはっきりしていて、力強く表現されている。

☞ デニッシュパストリーはデンマークでは「Wiener brød」ウイーンパンと呼ばれる。

Wiener brød og tærte

デニッシュとタルト

* CHOKOLADE BOLLE

ショコラッド ボレ



なんと1つでも一巻の定番は
チョコレートデニッシュでしょう。
何層もの生地がサクッと
きれいにふくらんでいます。



* SPANDAUER

スパンダウー

このパン「パン屋の定番目玉」という
なんとも不思議な名前。
ロバートはこれが好き。たぶん1番人気の
デニッシュなんだろう。黄色い甘いクリームに
さらにアイシング!! 私にはちよと
甘すぎました。

* JULE BOLLE

ユールボッレ



ユールボッレは
クリスマス限定のデニッシュ
レーズンやスパイスが
中に入っていて、赤いカーンは
これが好き。
お店によってはオレンジピールが
入るところもあるだろう。

* SNEGL

スネイル



スネイルは
巻きつくりの
意味。
ハピビヨリお

これはデンマーク版シナモンロール。北欧諸国には
必ずあるシナモンロール。どこも自国自慢ですが、
デンマークのは、他の国とちよと違う。デニッシュ生地と
アイシングかな。アイシング大好きよね。みんな、
これ、まん中全部アイシング!!

* SKOUBERTÆRTE

スコウバタータ



ブラックベリーとフランボワーズの
タルト。中に板チョコが入ってる。
これ、ほんつとに
おいしかった——っ!!
重量感のあるぷりぷりした
タルト生地は食べごたえが
あるのに、パイレットもカスタードも
甘すぎない。その上、ベリーが新鮮で太粒。
さわやかな酸味とチョコのアクセントがきいて
絶妙のコンビネーションでした。

コパンハーゲンの
おすすめスポット⑤

クリスマス気分を
高めくれる
馬車がいました。



古本屋さんの
ウィンドウディスプレイ



ニットやアンティークの
生地など、素敵なお
素材を組み合わ
せた手作り子供服

Crém de la
Crém à la Edgar
クレーム・ド・ラ・クレム・
ア・ラ・エドガールは
子供服モード界を
リードする
おしゃれな人気店
ウィンドウは
おとぼけ
スーパーズ
いっぱい!!

人の多さは去年と変わらないけど、なにかが 違うな...
と思ったら、そうそう、今年はストロイエの通りを
結ぶモミの葉の飾りがたいよ。

気のせいかな、イルミネーションも少ないから、去年より
地味な印象を受けます。

なんでも、現在開催中の「COP15」に伴う省エネなどの
お金もエネルギーも節約モードで世界各国から
つこまれないようにしてるんぞって。



コパンハーゲンのおすすめスポット⑥

コパンっ子に人気のパン屋



LAGKAGEHUSET ラウケーフセツ

コパンハーゲンに住んでいる人に、どのパン屋がおいしいか
聞くと、まっとうほとんどの方が、「ラウケーのパンは最高!!」と
答えるはず。わざわざ行くの買いたいのパン、遠くから
買いに来ている人も... そのおかげは、21と22の冬に作られる
石窯炊きのパン、素材も厳選されたオーガニック、
香り、味、見た目、手ざわり、焼き上がったパンのはぜ音、パンには
こだわりを持つデンマーク人の至福を満足させてくれる
パン屋さんです。もちろんデンマーク人じゃなくても、
まちがいたく、おいしい!! というはず。なんとして
日本に持って帰りたい!! 本気で考えましたもん。

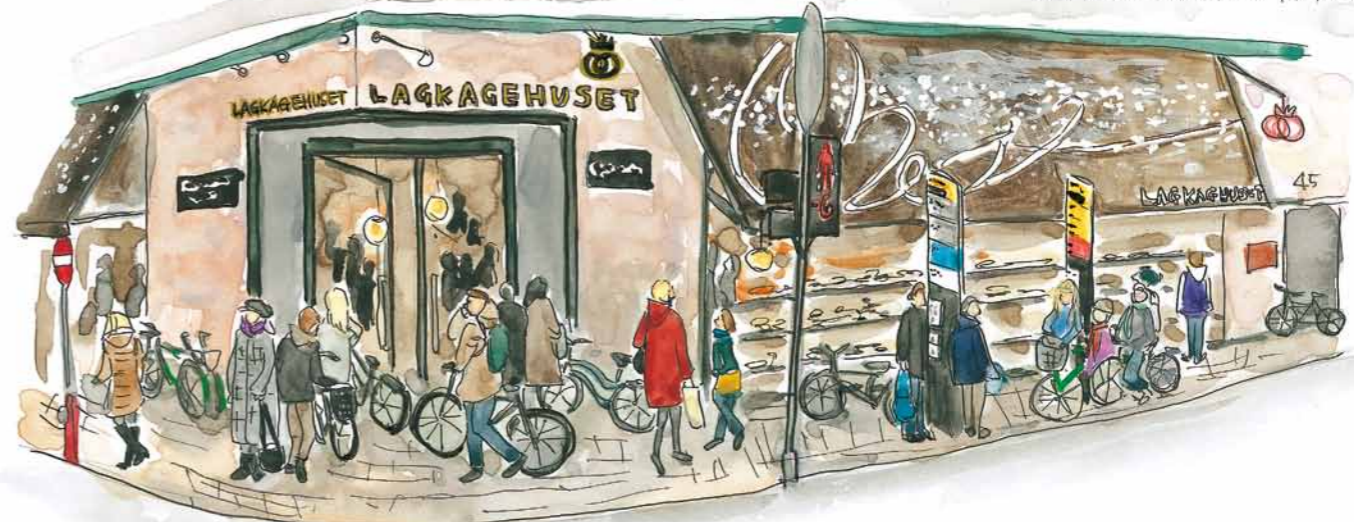
ハード系のパンはもちろんのこ。デニッシュパストリーや、タルトも
おいしいと評判です。

ウィンドウ越しに見えるタルトは、いちごやベリー類がこぼれる程
のっていて、食欲をそそられます。

いつ行っても人、人、人でごった返してしまいが、整理券を取って
順番を待ち、呼び出されるから大丈夫。デンマーク語が
わからなくてもデジタル表示があるから大丈夫。
カフェも併設されていて、イートインもできます。救世主委員会や
クリスチャニアに行く時は、絶対立ち寄りたいたいパン屋。

「ラウケーフセツ、福岡にもあったらいいな...」

今回は、カーンとロバートにお気に入りのおすすめメモに書いて
もらって、おつかいのように「これ下さい!!」と店員さんに
メモを渡しました。購入したパンのカタログ勝手に作りましたよ。



必死の形相で、時間と戦いながら買いつけをして、郵便局が締まる前に！ といつも慌ただしかったので気にならなかったけど、今回の旅で気がついたことがある。

それは、石畳ってこんなに歩きにくかったんだということ。今までは、汚れてもいい服、着回せる服、どれだけ歩いても疲れない靴を選んでいたので、仕事のない今回は、ちよつと服にも気がつかつてみたかった。すると、少しヒールのある靴は、石の表面の丸みで「ぐりん！」、石と石の隙間に「ズボーン」。まっすぐ歩けないではないか。

コペンハーゲンの女性たちは、どんな靴をはいているのか!? ファッションナブルな人が多いストロイエで見回すと、冬はブーツの人がほとんど。機能性重視のブーツではなく、ヒールのあるおしゃれブーツが多い。単に慣れの問題なのか。

どの時代も、女性には美しくありたいと思うもの。コペンハーゲンの女性は小物使いも上手でセンスよく、長身で姿勢よく闊歩する姿は本当に美しい(ちなみに男性にはおしゃれな人があんまりいない……)。

どうやって、あんなにカッコ良くはなれないが、石畳が歩きづらいことを悟られぬように、ゆっくり歩く。すると、今まで通り過ぎていたステキな景色が見えてきた。



明るいうちに
タワーに登ってみたいの
らせんの通路は、
光と影が折り返す
美しさを楽しめます。
眺望も素晴らしい
おやすめのラウンジタワー。



こんなクリスマスツリー
見つけたよ!!



インテリア&デザインショップに
置いてあったのは、
廃材で出来たクリスマスツリー
オーナメントも電球もなしの
シンプルでスタイリッシュ!
エコ時代のクリスマスツリー。

ニコニコ楽しく、クルクル回わいて。
奏でてはるものは、
手回し式のパイプオルガンのような?
移動式オルゴール?
温かいメロディーが
街に響きます。
おじさん風邪
ひかずにね。



Stroget
Shoppingのあいまに...

滞在中、屋台を見かけたたび、
つい買ってしまった
焼きアーモンド...
『ノーンデックメツラ』!!
あとひき罪なやつ。
色んなとろろ買って
味くらべてしてみたところ
おやすめ No.1は、
Magasinの入口(花売り場側)の
メガネの大きいおにじさんの。
*このおにじさんです。
アーモンドの粒の質と砂糖に
秘密があるのか!?
カリッとクランチ感が最高。



これにハマった!!
砂糖を煮詰めて、アーモンドに
からめたあとひき Sweets.
Brandte Mandler



コペンハーゲンのおすすめスポット⑦
土曜の夜はチボリハ



16時過ぎ、蒼い空に建物がシルエットに変わると、コペンハーゲンが一番美しい時間

建物は、イルミネーションで白くまばゆく輝きを増してくる

でも...

赤い壁にわらわは屋根のクリスマスマーケットが建ち並びます。軒下には個々に小さな小屋。ほのかにこぼれる明かりも、ニッセがストロベリーおこなっているように、クリスマスのムードを盛り上げます



湯気がほこほこ入場まで冷たい体を温めてくれるのはgløgg.

とこどこに置かれた焚火で手を温めましょう!

マーケットで売っているものは、手袋やマフラーなどに色とりどりなランタン。



おろろ三つ編にしたハートのリース。Itzのクリスマスツリー。飛んだり機がデニムがらしい。



ニッセの王国へ行くミニトロッコ。



葉がすべて落ちた樹には無数のハートのランプ!!

チボリ公園はコペンハーゲンの心のふるさとと言われている。チボリが開園するのは、四月から九月の暖かく輝いている季節とクリスマスの前後一ヶ月だけ。遊園地だけど、日本の遊園地とは少し違う。

刺激的な絶叫マシンがあるわけではなく、子どもや若者はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃんまで楽しめる。園内のあちこちにあるステージでは、バンド演奏やサーカス、パントマイムのショーまで行われていて、本格的なレストランの数も圧倒的だ。

おじいちゃん、おばあちゃんが手をつないで歩いていたり、めったにしない外食を家族や友人と楽しんだり、老若男女、刺激ではなく平和を求めていることがわかる。

ハイテクではない小さな観覧車がぐるぐるともものすごいスピードで回転していたり、夢のようなメリーゴーランド、ニッセ(小人)の国を巡るアトラクションも、熊の毛の帽子をかぶった兵隊さんの行進も、こどもの頃に絵本で見たような世界で、どこかノスタルジックではほえましい。おもちゃ箱をひっくり返したようだ。

家族で、友人で、恋人で、どんなシチュエーションでものんびり楽しめるのがチボリだ。

チボリは、少しづつ夜風が冷たくなる頃、花火とともに閉園し、コペンハーゲンの夏は終わる。

人びとに季節はめぐることを思わせる、そのせつなさこそが、愛され続ける理由なのかもしれない。





Nyhavn

ここにも赤い壁の
クリスマスマーケットが
建ち並びます。
運河に碇泊中の
船の支柱にも
クリスマスリースが
飾られています。



ここぞ みたてのは...

JULEBRYG SHOP

全2 Tuborg のあの
ビール 2 本 goods !!
すごい。ここに オリジナル
パイタの あり たくさん。
Sexy は パンツ は 売れ筋!
ほんとに かわいい
お宝 ねえ♡



大鳥が 昇っています。
地 下 から 暖かい
蒸気が 上って くるから。



午前中 だけ だ
また 人は まばら

KONGENS NYTORV

コンゼンス ニュー トロ ム スケート リング に 変身。
スケート 靴 を 借り する 列 に 並ぶ 若者 たち
ほんとに 中。高生... ほんとに 中。
マジ 滑走 する おじさん 1 名 アリ。

シューズ
レンタル 料 は
40 DKK / 1h
(約 700 円)

イマジの 売った
スピード タイプ と
1-マル タイプ から
選べる みたい です。



コペンハーゲンの
おすすめ スポット ⑧

昔々、北欧では、先に紹介した「ニッセ」と「トムテ」がヤギに乗ってクリスマスプレゼントを配っていたという言い伝えがある(アドベントの回にご紹介したワラでできたヤギ、ユールポックがそうです)。

サンタクロースの起源は、キリスト教で聖ニコラウスの善行を讃えたものとされているが、現代の私たちが知るサンタクロースの衣装は、このニッセやトムテの赤い服に、とんがり帽子が加わって、絵やイラストで伝えられたとも言われている。

北欧各国には「サンタクロース郵便局」があり、世界中の子どもたちからサンタクロース宛てた手紙が届けられている。フィンランドのサンタクロース郵便局は北極圏のロバニエミにあり、オーロラにトナカイ、そしてサンタクロースに出会える村として有名。

また毎年七月、コペンハーゲン郊外のデューハウンバッケンでは「世界サンタクロース会議」なるものが開催されていて、世界中から集まったサンタクロースに会うことができる。会議では「トナカイをつないでおく場所が減った」「女性サンタのスカートが短すぎる」など、自国のクリスマス現在の現状と問題が大マジメに議論されている。そう、世界一平和な国際会議とも言われている。

「ホウ! ホウ!」の発声や煙突登りなど、グリーンランド国際サンタクロース協会の厳しいテストに合格したサンタクロースにのみ参加が認められ(日本人サンタもいるらしい)、会議の他、ショーやパレードなど、大勢のニッセたちもお手伝いする夏の大会(アドベントとして賑わっている)。

北欧に伝わる民話とキリスト教の伝承が交わり、ニッセとサンタクロースは今も世界中の子どもたちに夢と希望を与え続けている。